

☆福岡大学病院診療科一覧☆

腫瘍・血液・感染症内科	内分泌・糖尿病内科	消化器内科	腎臓	腎臓・膠原病内科	循環器内科	呼吸器内科	神経内科	健康管理部	総合診療部	東洋医学診療部	漢方	鍼灸	精神神経科	小児科	消化器外科	呼吸器外科	小児外科	整形外科	形成外科	形成外科	美容外科	脳神経外科	心臓血管外科	皮膚科	皮膚科	美容外科	泌尿器科	産婦人科	眼科	耳鼻咽喉科	放射線科	治療	麻酔科	歯科	口腔外科	リハビリテーション科
毎日	毎日	毎日	月・火・水・木・金	初診 月・木 再診 火・水・金	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	漢方 月・水・木 鍼灸 ※予約制	漢方 月・水・木 鍼灸 ※予約制	※予約制	※予約制	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	月・水・木・金・土	※予約制 月・木	※予約制 月・木	月・水・金	火・木	※予約制 月・水・金	※予約制 月・水・金	火・木	初診 ※水は予約制 再診 月・火・水・木・金	再診 毎日	月・火・水・木・金	火・木・土	月・木・金	火・水・金	月・水・金	毎日		

【診療受付時間】

◎初診：(月～土) 8時30分～11時00分 ◎再診：(月～土) 8時30分～11時00分
※休診日：日曜・祝日・振替休日 盆休(8/15)・年末年始(12/29～1/3)

交通のご案内

地下鉄七隈線でご来院の方へ

「福大前駅」での下車となります。下車後、徒歩1分です。
改札口を出て右側(2番出口)が福岡大学病院方面となります。
定員20人乗りの一般用のエレベーターが設置されています。
※「天神南駅」からご乗車の場合(所要時間 約16分)
※「橋本駅」からご乗車の場合(所要時間 約8分)
※「福岡空港」、「博多駅」からの場合、「天神駅」で乗りかえです。
天神地下街を通過して七隈線「天神南駅」から乗車となります。

バスでご来院の方へ

「福大病院バス停」での下車となります。
天神から(所要時間 約30分)
天神警回社三越前から14、114番のバスにご乗車ください。
天神協和ビル前(10)乗り場、あるいは天神福ビル前(12)乗り場からの場合、福大病院経由の140番のバスにご乗車ください。
博多駅から(所要時間 約40分)
博多駅前バス停(A)あるいは、福岡交通センター1階(4)乗り場から福大病院経由の114番にご乗車ください。



六本松・別府2丁目バス停から(所要時間 約15分)
14番、114番、140番で福大病院経由のバスにご乗車ください。
西新から(所要時間 約30分)
脇山口バス停で、95番の福大病院経由のバスにご乗車ください。
※便が少ないため、天神南駅から地下鉄を利用されることを、おすすめします。

自家用車でご来院の方へ

九州自動車道、福岡都市高速道路を利用する場合
九州自動車道、太宰府ICより福岡都市高速道路を経由し、堤ランプで降り、国道202号線(B福岡外環状線道路)に入り2kmほど直進して、福大トンネル出入口手前で右折し福岡大学病院方面に向かい福大病院東口交差点を右折してください。
西九州自動車道を利用する場合
※西九州自動車道(福岡前原道路)拾六町インターチェンジで降り、国道202号線(福岡外環状線道路)の青果市場入口交差点を右折してください。国道202号線(福岡外環状線道路)を4kmほど直進し、福大トンネル出入口手前で右折してください。梅林中学校交差点を左折後300mほど直進し、福大病院南口交差点を左折してください。

国道202号線バイパスを利用する場合
※天神、六本松方面から来院される方は、国道202号線(A別府橋通り)の中村大前交差点を左折し3kmほど直進し、七隈四ツ角を過ぎると右側に病院が見えてまいります。
※福重、原方面から来院される方は、国道202号線(C今宿新道)の荒江四ツ角を過ぎ、国道202号線(別府橋通り)の中村大前交差点を右折し3kmほど直進し、七隈四ツ角を過ぎると右側に病院が見えてまいります。

国道263号線を利用する場合
※西新、荒江方面から来院される方は、国道263号線(D早良街道)の野芥四ツ角を左折し、県道49号線を1.2kmほど直進し福岡大学病院方面に向かい福大病院南口交差点を左折してください。
※三ツ瀬、曲淵方面から来院される方は、国道263号線(D早良街道)の野芥四ツ角を右折し、県道49号線を1.2kmほど直進し福岡大学病院方面に向かい福大病院南口交差点を左折してください。



福岡大学病院 〒814-0180 福岡市城南区七隈七丁目45-1
TEL (092)801-1011(代)

発行：医療情報部 URL：http://www.hop.fukuoka-u.ac.jp/

福大病院ニュース

2010 季刊
秋号
No.73



福岡大学病院は、「あたたかい医療」をさらに充実させます。

福岡大学病院の基本理念 あたたかい医療

- 高度先進医療の指導的病院
- 健康のための情報発信基地
- 地域に開かれた中核的医療センター
- 社会に必要とされる優れた医療人の育成
- 社会のニーズに応える患者中心の医療の提供

患者さんの権利と義務 医療は医療者と患者さんとの信頼関係で成り立っています。福岡大学病院では、信頼され安心して受診していただける病院を実現するため、患者さんの基本的な権利を明確にしてこれを職員一同が認識すると共に、患者さんにも義務を守っていただくことをお願いします。

- 《患者さんの権利》
1. 受療権 患者さんには常に人間としての尊厳と差別のない安全で最善の医療を受ける権利があります。
 2. 選択権 患者さんには病院を自由に選択し、変更する権利があります。
 3. 自己決定権 患者さんは検査や治療について、その目的、もたらされる結果などについて十分説明を受け、納得の上で選択あるいは拒否する権利があります。
 4. 知る権利 患者さんは自分自身に関する情報を開示され、自己の健康状態について十分な情報を得る権利があります。
 5. プライバシー保護権 患者さんは医療上得られた個人の情報やプライバシーが守られる権利があります。
- 《患者さんの義務》
1. 情報提供義務 患者さんは良質な医療の提供を受けるために、ご自分の健康に関する情報をできる限り正確に医師や看護師に提供してください。
 2. 状況確認義務 患者さんは納得のいく医療の提供を受けるために、医療に関する説明を受け、理解できない場合は理解できるまで質問して確認してください。
 3. 診療協力義務 全ての患者さんが適切な療養環境で治療に専念できるように、社会的ルールや病院の規則、職員の指示を守ってください。
 4. 医療費支払い義務 適切な医療を維持していただくために、医療費を滞滞なくお支払いいただくことが必要です。

新診療棟開院についてのご案内



副病院長
消化器内科 教授
向坂 彰太郎

福岡大学病院では、2011年1月4日に新診療棟が開院します。1973年に福大病院〔病院本館〕が建設されて以来の大規模な新棟の開院となります。

新診療棟は、延床面積約29,000㎡、地下1階・地上7階建ての免震構造（一部耐震構造）で、地下鉄福大前駅と直結し、病院本館とは渡り廊下で結ばれます。新館の1階から3階が外来、4階から7階が病棟になり、大半の外来と204床の病棟が移転し、階別構成は次のとおりです。



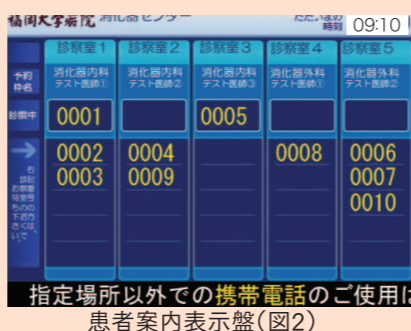
新診療棟外観



正面エスカレーター



メディカルホール(図1)



指定場所以外での携帯電話のご使用は患者案内表示盤(図2)

(新館)

地下1階: 栄養部、スターバックスコーヒー、多目的室

1階: 外来(総合診療部、東洋医学診療部、予防医学センター、運動器・脊椎・脊髄センター)、放射線部、臨床研究支援センター、医療安全管理部、地域医療連携室、医事課、計算・会計フロント

2階: 外来(消化器センター、呼吸器センター、内分泌・糖尿病センター、脳神経センター、腎・泌尿器・膠原病センター)、内視鏡センター、中央採血室・心電図室

3階: 外来(小児医療センター、皮膚科・形成外科・美容医療センター、ハートセンター、女性診療センター、アイセンター)、遺伝医療室

4階: 病棟(総合周産期母子医療センター70床(NICU、GCU、MFICU等))

5階: 病棟(小児医療センター38床(小児科、HCU))

6階: 病棟(ハートセンター48床(循環器内科、心臓血管外科、CCU))

7階: 病棟(消化器センター45床(消化器内科)、特室3床))

(別棟)

福大プラザ: 地下鉄福大前駅と新館とを地下で直結する天井がガラス張りの明るい空間で、各種案内や展覧会作品等の展示スペースを設け、地域住民や学生との交流の場となります。

福大メディカルホール: 1階はメディカルホール(300席の講演会ホール(図1))、地下1階はメディカルフィットネスセンター(トレッドミル、エアロバイク、負荷心電図装置、呼気ガス測定装置、フローミル等の機器を備えます。)

新診療棟では、将来の医療環境を展望し、様々の新しい取り組みが盛り込まれています。

新館の1階から3階までは吹き抜けで、空港を思わせるようなアトリウムになっています。地下鉄福大前駅と新館とを地下で直結する天井がガラス張りの福大プラザと合わせ、明るい空間を創り出しています。

災害拠点病院としての役割を果たすため、新館は免震構造として地震に強い建物になっています。また、災害時に多くの被災者受け入れを想定し、1階ロビーで救急搬送時の処置ができるよう、多くの医療ガス配管設備を設けています。約100㎡の備蓄倉庫には災害時に備え食料及び飲料水の備蓄を行います。

セキュリティにも力を入れ、各階に防犯カメラ及びICカード対応の電気錠を設置して、患者さんの安全や個人情報の漏洩防止を図ります。

新館の裏側(南側)にはホスピタルガーデン、新館と福大メディカルホールの間には中庭を設けて、患者さんに安らぎの場を提供します。

1階から3階までは外来です。外来は臓器別センター化を基本とし、垣根の

ないトータルケアを目指しています。これにより、内科・外科が統合された診療が可能となります。各センターに患者さんのための待合スペースを広くとり、患者案内表示盤(図2)を設置します。診療費の支払い、「はやかけん」等のICカードも使用可能な自動精算機(図3)を設置し待ち時間の減少を図ります。外来では予防医学にも力を入れていきます。医学部、スポーツ科学部、薬学部が同じキャンパス内に揃う本学の特性を有効活用して、各学部が連携を取りながら予防医学センターでメタボリック症候群や糖尿病予備軍の相談、診断を行うほか、隣接して建設する「メディカルホール」では健康増進に関する講演会、公開講座を開催し、また、地下1階にはメディカルフィットネスセンターを設置し、心臓疾患患者のリハビリテーション(保険診療)および生活習慣病予防の運動療法等を行います。



自動精算機(図3)

4階から7階までは病棟です。一般室は4人部屋とし、各部屋にトイレを設けています。また、手術中の家族控室を設けるなど、患者や家族にも優しい設計になっています。従来のナースステーションは、病棟業務を行う薬剤師や管理栄養士等の業務スペースを含んだスタッフステーションに変更し、点滴薬剤準備室を設けるなど安全や業務効率にも考慮しています。

4階には総合周産期母子医療センター(70床)が入ります。県内全域での慢性的なNICU(新生児集中治療室)不足から起こる母体搬送拒否をなくすべく、NICU15床、GCU30床と、計16床増床します。

5階の小児医療センター(小児科:38床)には4床のHCUを設置します。4階の総合周産期母子医療センター新生児部門とより近い位置に配置することで新生児部門からの移行もよりスムーズに行うことが出来るようになります。

6階のハートセンター(循環器内科、心臓血管外科:48床)には6床のCCUを設置して、重症患者や手術後の集中治療に当たります。心臓リハビリ室を設置して入院患者の急性期リハビリを行います。心臓疾患患者のリハビリテーションについては、退院後もメディカルフィットネスセンターで保険診療による心・血管リハビリを実施して、社会復帰と再発防止を支援します。

7階には消化器センター(消化器内科:45床)のほか、特室3床を設けています。消化器センターでは、入院患者の急変時に内視鏡的治療なども行えるような救急処置室を設けています。

また、1階の医療安全管理部には、患者さんが自由に医療の知識を得られるように、医学書や検査説明のためのDVD視聴器などを備えた『患者図書室』を設けています。さらには、学生教育の充実のため、医学生・看護学生・薬学部生の実習のための部屋を設けています。

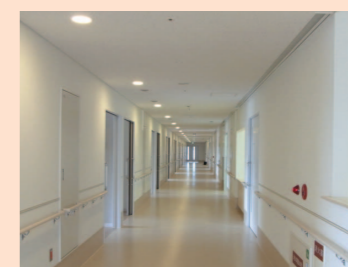
以上のように、新診療棟は、地下鉄福大前駅より直接病院外来にアクセスできる本邦初の大学病院棟となります。また、その途中にはスターバックスコーヒーによる喫茶室を設け、福大プラザや屋外庭園など、患者さんならびに職員がくつろげる空間も重視されています。

この新診療棟開院により、地域の病院と密な連携をとりながら、福大病院が益々福岡市の医療中核病院と育っていくものと期待されます。また、福岡大学医学部が創生期から円熟期へと成長したことを示すシンボリックのモニュメントになるものと考えます。

なお、新診療棟の完成にあわせて、本年11月27日〔土曜日〕に、新診療棟内覧会ならびに記念式典、その後、祝賀会を本学ヘリオスホールで開催予定です。祝賀会には、大学関係者のみならず、本学の同窓の先生や、福岡市の医師会関係者をお招きして、新しい福岡大学病院のお披露目の会にしたいと思っております。



外来診療室



病棟内



各センター受付